

## VI し尿処理事業

### 1 あらまし

本市のし尿処理は、昭和35年4月まで伊子志、武庫川、小林、東蔵人の4地区を対象として、し尿貯留槽を設けるとともに、市内農家の貯留槽も併せて使用し農家還元をしていたが、農家の利用が減少した昭和35年5月からは貯留槽を中継所として衛生的処理へ移行した。

昭和35年にし尿処理場の建設を計画し、昭和42年11月位置決定、昭和43年1月着工、昭和44年3月完工し、同年7月から試験操業に入り、10月から本格操業を開始した。

その後、急激な人口の増加と浄化槽汚泥処理が急務となったため、施設を設備改良し浄化槽汚泥処理施設の併設を計画、昭和47年12月完工、昭和48年1月より運転、前処理施設より汚泥乾燥焼却に至る一連の処理施設が完工した。

又、昭和53年4月より汚泥焼却排ガス中のSO<sub>2</sub>の総量規制が実施されたため脱硫装置を設置した。

昭和62年7月より新し尿処理施設建設に着手、平成2年3月に完成、旧施設は解体廃止した。

その後、下水道の普及に伴い、クリーンセンターへの搬入量が減少したため、平成13年度に固液分離希釈放流方式に変更し、平成14年3月から稼働した。

### 2 し尿収集及び処理状況

単位:(kl)

年度	収集処理 実績	内 訳	
		くみ取りし尿	浄化槽汚泥
H13	6,066	4,049	2,017
H14	5,439	3,248	2,191
H15	5,321	2,572	2,749
H16	4,753	2,341	2,412
H17	5,295	2,531	2,764
H18	4,752	1,457	3,295
H19	4,191	1,193	2,998
H20	4,084	1,115	2,969